

オオタバコガ 発生多い。注意を。



オオタバコガ成虫

キクを加害するオオタバコガ幼虫

オオタバコガは、多くの作物に被害を与える害虫です。若い幼虫は葉の表面を食害しますが、育つにつれ穴をあけるようになり、花、茎、結球の中へ潜り込んできます。そうすると、商品価値はなくなります。

愛知県は、菊やキャベツ等の野菜に害を及ぼすオオタバコガに関する発生予察注意報を出しました。

フェロモントラップへの誘殺数が4月下旬から増え始め、5月上旬の数は過去10年で最も多い誘殺数となっています。高めの気温が続き、次世代幼虫の発生も多くなると考えられます。

○ キャベツ等の結球部に侵入した幼虫や発育が進んだ幼虫は薬剤が効きにくいので、若い幼虫のうちに薬剤防除を徹底します。

○ 被害を受けた葉や花などは卵や幼虫が残っている可能性があります。放置せずに適切に処分します。

○ 菊では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなります。早めに見つけて防除します。

○ 施設栽培では、開口部に防虫ネットを設置し、成虫の侵入を防ぎます。

○ 薬剤感受性が低下しないように、同類の農薬の連用を避けます。

オオタバコガ 主な防除薬剤

菊 ; アクセルフロアブル、フェニックス顆粒水和剤、コテツフロアブル、スピノエース顆粒水和剤

花き類・観葉植物 ; アファーム乳剤、プレオフロアブル

キャベツ ; アニキ乳剤、フェニックス顆粒水和剤、プロフレアSC

野菜類 ; デルフィン顆粒水和剤